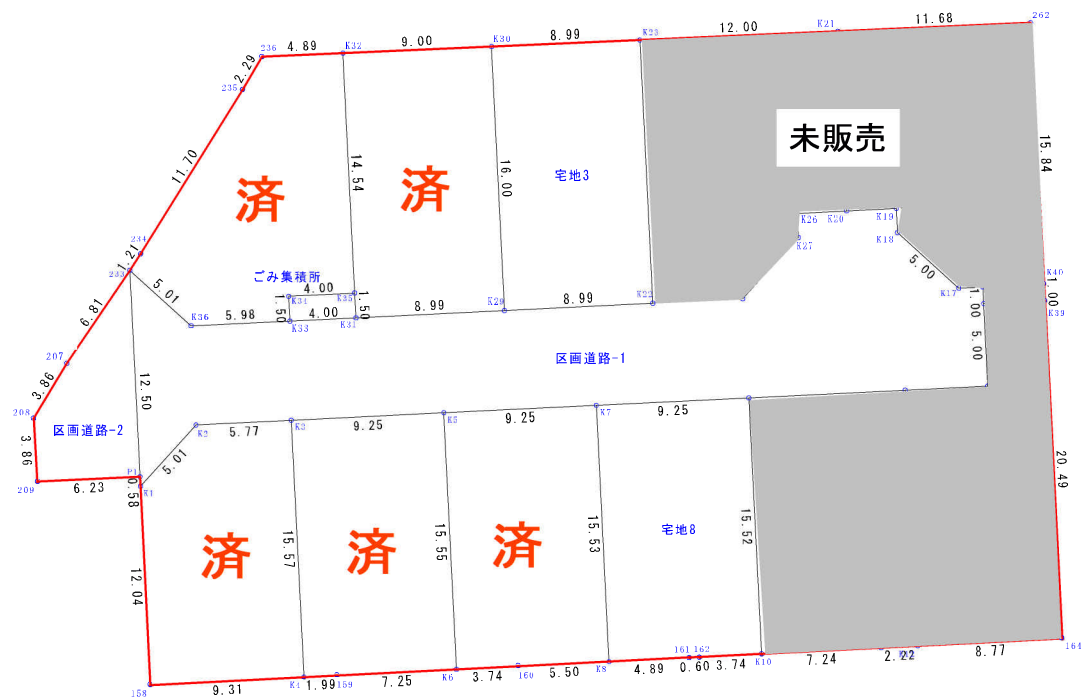
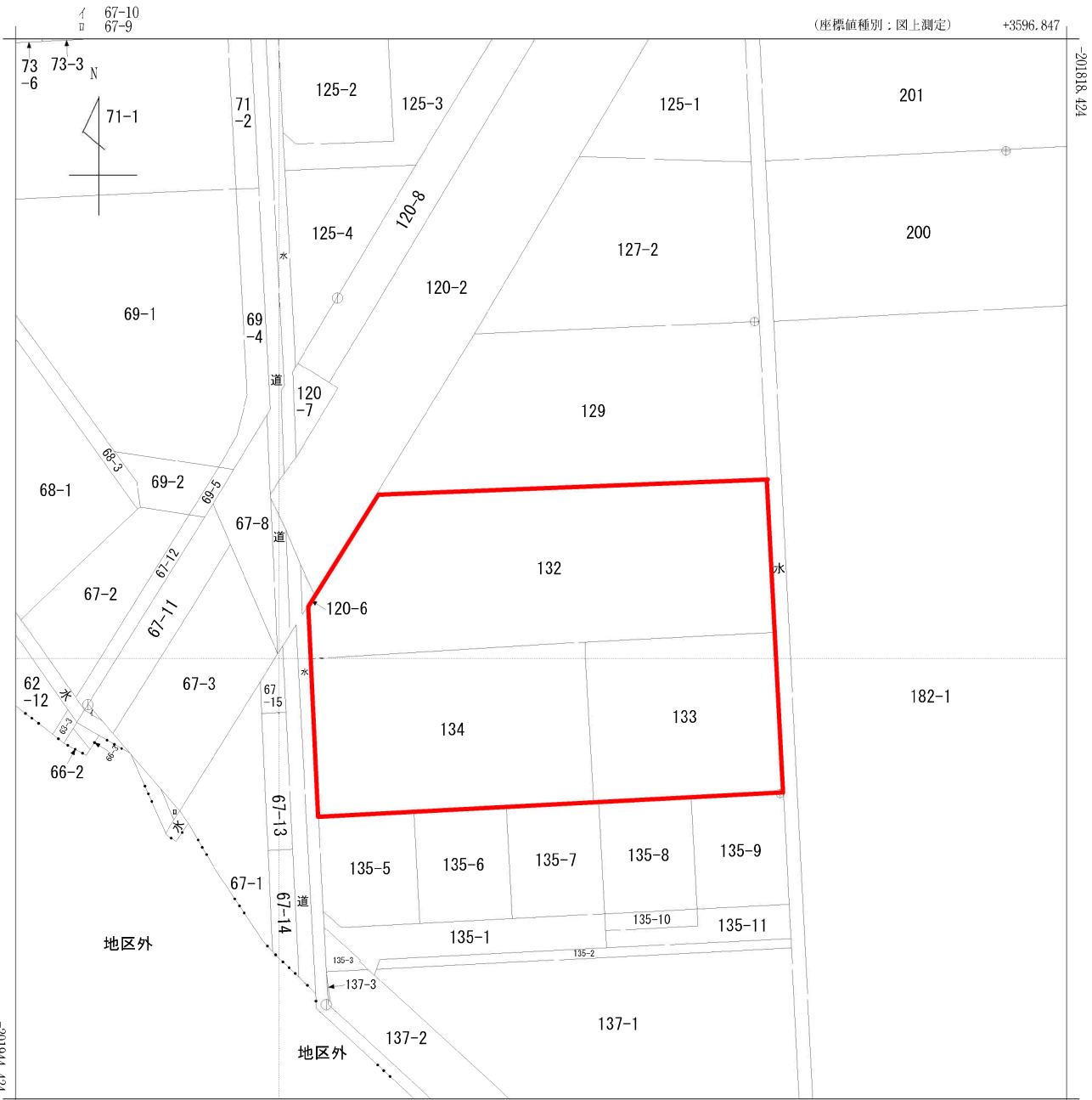


宅地9			
点名称	X	Y	Xn-1-Yn-1
K30	-201872.244	3528.571	-16.380
K29	-201888.222	3529.355	-15.540
K22	-201887.784	3538.344	16.380
K23	-201871.815	3537.602	15.540
合計			287.618520
1/2			143.8092600
面積			143.81 m ²



宅地8			
点名称	X	Y	Xn-1-Yn-1
E7	-201893.969	3534.028	-15.973
K8	-201909.488	3535.690	-15.270
E61	-201909.239	3540.574	0.280
E62	-201909.208	3511.183	0.222
E10	-201909.017	3541.028	15.692
E9	-201885.515	3541.187	15.648
合計			287.292222
1/2			143.6461110
面積			143.65 m ²

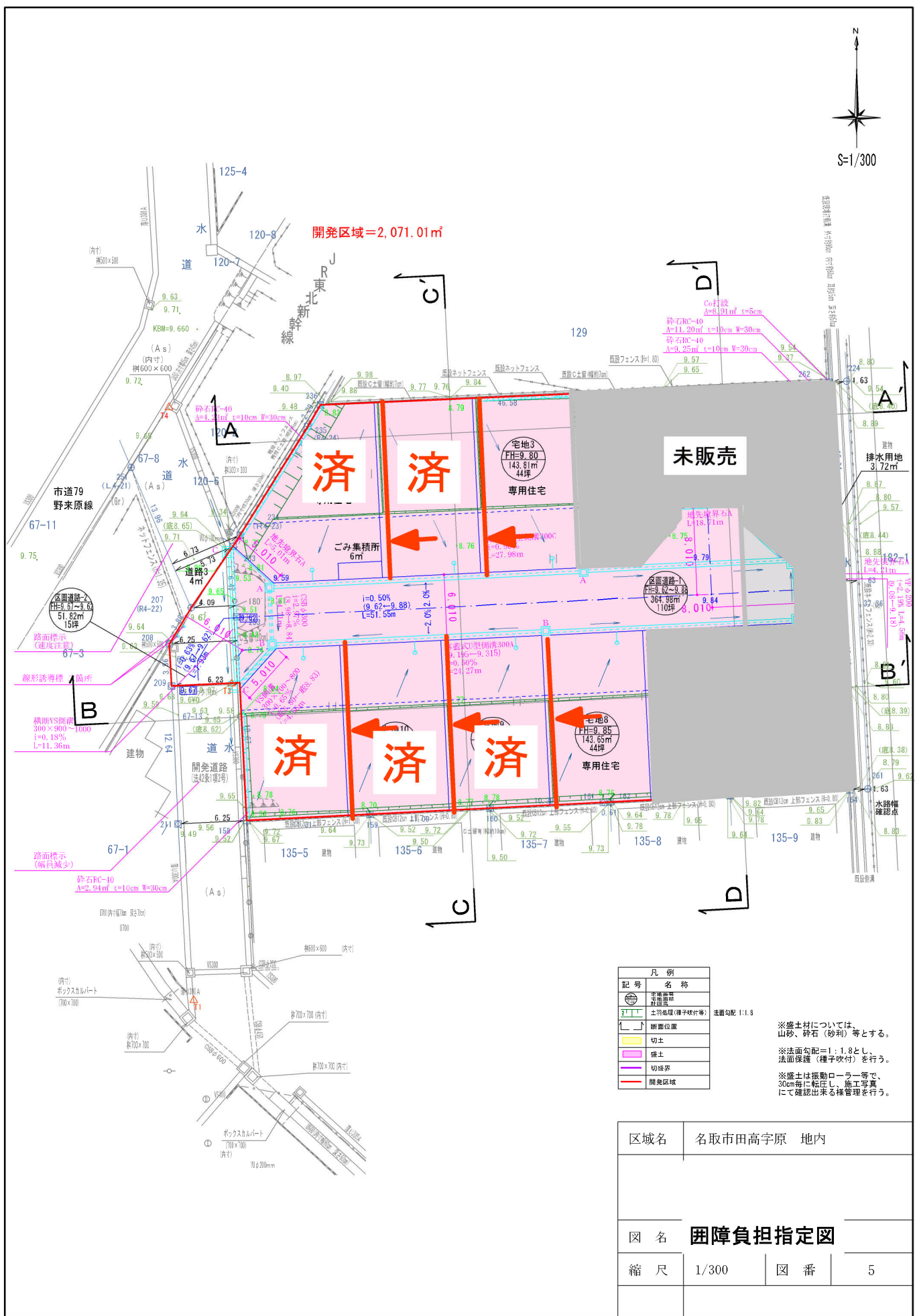
区域名		名取市田高字原 地内		
図 名		計画求積図・求積表		
縮 尺		1/300	図 番	9-2



(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouuki2011.par)による修正がされています。



請求部	所在	名取市田高字原				地番	132番			
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	X	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月	昭和61年8月			備付年月日(原図)	昭和63年11月4日			補記事項		



凡 例	
記 号	名 称
	老地帯 老地帯 老地帯
	土羽処理 (種子吹付等)
	断面位置
	切土
	盛土
	切盛界
	開発区域

※盛土材については、
山砂、砕石（砂利）等とする。

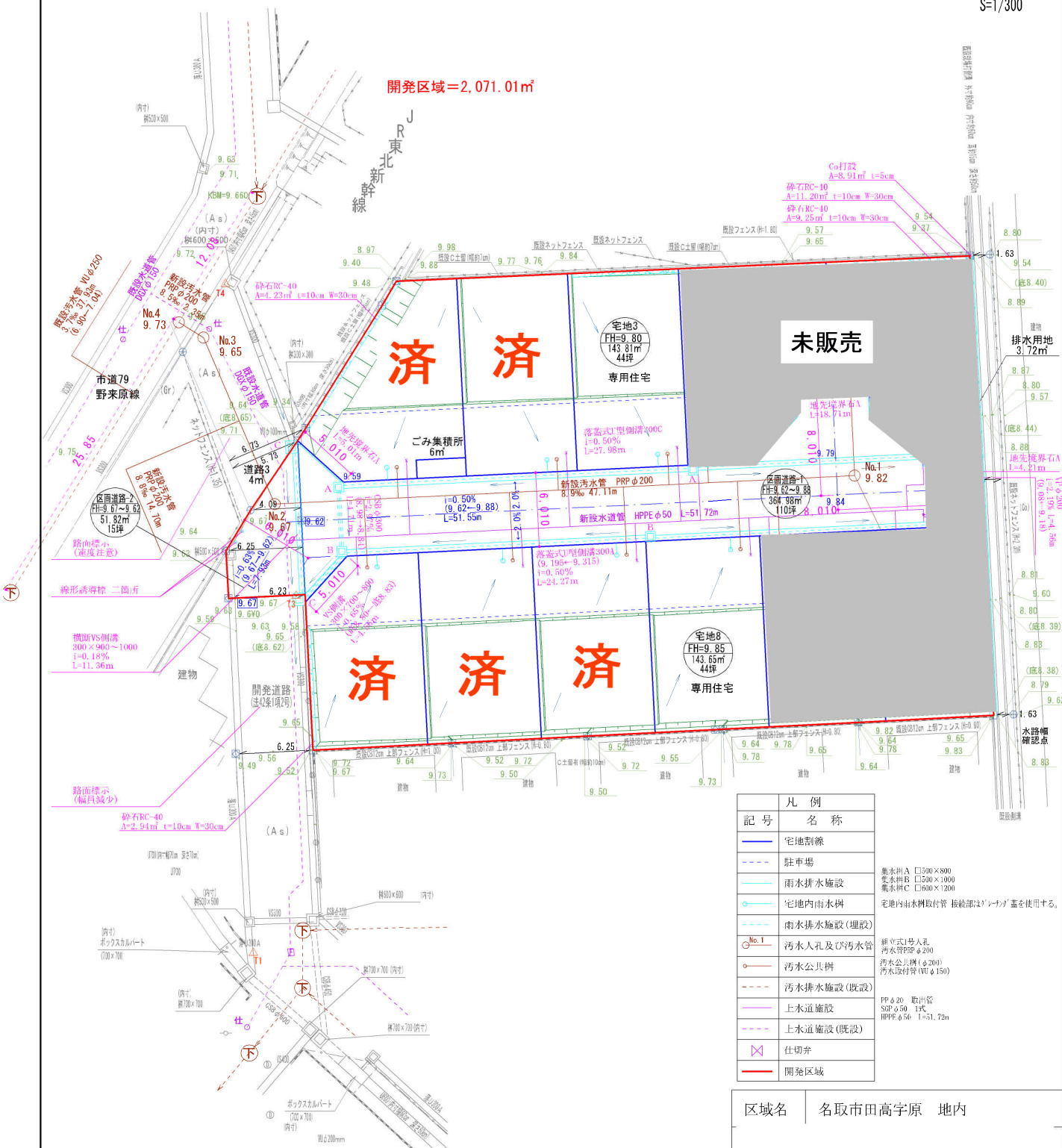
※法面勾配＝1：1.8とし、
法面保護（種子吹付）を行う。

※盛土は振動ローラー等で、
30cm毎に転圧し、施工写真
にて確認出来る様管理を行う。

区域名	名取市田高字原 地内		
図 名	囲障負担指定図		
縮 尺	1/300	図 番	5



開発区域=2,071.01㎡



記号	名称
——	宅地界線
——	駐車場
——	雨水排水施設
——	宅地内雨水樹
——	雨水排水施設(埋設)
○No.1	汚水人孔及び汚水管
○	汚水公共樹
——	汚水排水施設(既設)
——	上水道施設
——	上水道施設(既設)
✕	仕切弁
——	開発区域

集水樹A □500×800
集水樹B □500×1000
集水樹C □600×1200
宅地内雨水樹取付管 接続部は「リネン」蓋を使用する。
縦立1号人孔
汚水管PPφ200
汚水公共樹(φ200)
汚水取付管(VUφ150)

区域名	名取市田高字原 地内
図名	給排水施設計画平面図
縮尺	1/300
図番	7

※法面勾配=1:1.8とし、法面保護(種子吹付等)を行う。
※草上は根拠ローラー等で30cm毎に転圧し、施工直後に確認出来る様管理を行う。
※宅地内雨水取付管接続部は「リネン」蓋を使用すること。
※グレーチング座については、滑り止めグレーチングを使用しボルト締めを行う事。
※既存雨水利にて、開発区域全てが包含されている為、新設雨水利は不要とする。